

警 察 署 協 議 会 会 議 録

小倉南警察署協議会

開催年月日時	令和7年7月23日 午後4時00分 から 令和7年7月23日 午後5時15分 までの間	
開催場所	小倉南生涯学習センター 3階 第1会議室	
出席者	警察署協議会	会長以下14名
	警察署	署長、地域管理官、刑事管理官、総務課長、 留置管理課長、会計課長、生活安全課長、警察 署付、刑事第一課長、刑事第二課長、交通課長、 警備課長
議 事 概 要		
<p>【会長挨拶（要旨）】 本日は、令和7年度第2回小倉南警察署協議会にご出席いただき、感謝申し上げます。 先日、JRAから小倉南防犯協会連合会に対して防犯カメラ等が寄贈され、寄贈式が小倉南警察署で行われたという報道に接し、署長が仰る「ワンチームで防犯意識を高める」という取組の一環であると感じた。 昨今激増しているニセ電話詐欺等の被害を防ぎ、市民の防犯意識を高めるために、どのような取組が有効であるのか、皆様から多くのご意見をいただきたい。</p> <p>【署長挨拶（要旨）】 本日、当会議に先立ち北九州市立大学の防犯ボランティア「MATE`s」に対し、多年にわたり地域住民の防犯意識を高め、犯罪の抑止に貢献した等の功勞により、警察本部長による感謝状を伝達した。 前回の会議でも、市民の皆様方と警察との連携による相乗効果をいかに発揮させるかが治安向上のポイントであると話をさせていただいたが、そうした相乗効果の表れを評価されたということで、非常に意義のある表彰だと捉えている。 次に、最近の犯罪情勢を見ると全国的にニセ電話詐欺被害が増加しており、当署も例外ではない中、これまでは高齢者の被害が多かったところ、SNSの広がりにより、若い世代にも被害が拡大している。 協議会委員の方々は様々な職種や経歴をお持ちであるので、皆様の知恵を借りながら、これら課題に対処していかねばならないと思っている。 もう一つが上半期の犯罪情勢で、情勢は日々変化するため一喜一憂はできないものの、県内全域では犯罪発生が増加傾向のところ、当署は微減であり、地元の皆様や公的機関等との連携による見守りや防犯カメラ設置等の効果が表れているものと</p>		

議 事 概 要

捉えている。

当署は、地域で問題になっていることに対し、しっかり手を打つことを基本方針としているので、是非とも皆様のご意見をいただきながら、治安対策に取り組むため、忌憚のないご意見をいただきたい。

【報告事項等】

- 1 令和7年上半期小倉南警察署治安概況（刑事第一課長、交通課長）
- 2 ニセ電話、SNS型投資ロマンス詐欺について（生活安全課長）

【質疑応答・意見要望】

○ 刑法犯認知件数の推移について

委員から「コロナ禍に減少傾向であったニセ電話詐欺が、近年激増している旨の説明がなされたが、なぜコロナ禍では犯罪が少なかったのか。」と質問があった。

生活安全課長から、「確定的な分析はないが、コロナ禍では人の動きが大きく制限され、犯罪グループも動きにくかったのではないかとということも減少要因の一つであると考えられる。」と回答があった。

○ 交通事故の届け出について

委員から「周囲に対し、『些細な事故でも必ず警察に届けるように』。と呼び掛けているが、『壁に接触したものの、車にも壁にも傷がない』ような場合でも、やはり届け出る必要があるのか。」との質問があった。

交通課長から「一見傷が見えなくても、よく確認すると損傷が認められる場合もある上、交通事故は法律上届け出義務があるので、必ず届け出るようにしていただきたい。」との回答があった。

【閉会】

以上で、令和7年度第2回小倉南警察署協議会を閉会する。